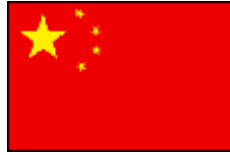


## ✪ 八王子国際フレンドからのメッセージ ✪



中国



北京市

### (プロフィール)

名前：陳 卉園 (ちん きえん)

日本在住：半年

出身地：中国 北京市

趣味：音楽鑑賞 語学



### 日本での暮らし紹介



日本に来てから半年が経ちました。

今年も桜の開花予想の時期がやってきました。

八王子に住んでいるため、一番関心があるのは高尾山周辺の桜の情報です。第二回目のさくら開花予想により、東京は平年より2日早い、26日に開花するそうです。いま、私は毎日お花見を楽しみにしています。



### 母国の紹介



北京といえば、「京劇」の「家」が有名です。

「京劇」を演奏するときに欠かせない楽器は、二胡です。二胡は、中国語で“アルファー”と言います。中国のバイオリンとして、伝統的な楽器です。日本では胡弓と呼ばれていて、その歴史は1500年以上もあります。

今でも、北京ではもっともポピュラーな伝統楽器として大衆に愛されています。二胡は、口では言い表わせないほど豊かな表現力をもっていて、二本の弦から、とても美しい音色が生み出されます。

二胡は、華やかな曲から東洋的な独特の雰囲気のある曲まで、幅広く演奏できるのが魅力です。外弦と内弦と呼ばれる2本の弦が張っており、これらの弦を、左手で押さえて音階をつくり、右手はヴァイオリンのように弓で弦を擦って音を出し、演奏するのが基本です。

二胡の全長は約80センチ前後で、琴桿の上部は彎月型、龍型などがあります。琴筒の形は六角形、八角形、円形があります。琴筒の一端に錦蛇の皮を貼り付けますが、皮の品質はとても重要で、二胡の命と言われ、皮の模様、鱗の大きさ、均等さ、厚みが適正なものが上級品とされています。また、貼りぐあいも非常に大切な要素となります。



最近では日本でも人気があり、老若男女、幅広くの方々が演奏するようになってきました。

二胡を演奏するために、何年間か基本練習を続けることは大切です。この基本練習について、私はインターネットで調べました。

幾つかの姿勢がありますが、一番演奏しやすいのは、椅子に座って演奏する方法です。まず、自分の膝と同じ高さの椅子を用意します。そして椅子に浅く座り、背筋をのばします。両足は少し開きます。左足の膝から下は、床に対して垂直にし、腿から膝までを水平になるようにします。共鳴胴の下の台座を左足の腿の付け根に置いて、右足は少し後ろに下げて、膝を左足より低めにします。

楽器の持ち方も難しそうです。二胡を腿の付け根に置いて、左腕で棹のチェーンジンの部分を軽く持ち、棹が体に対して少し開くように、約15~20度くらい前に倒して構えます。つぎに左手は、親指の付け根を棹の背に軽く添えて、中指等、他の指先を弦の上に軽く乗せます。



静かな午後、お茶を飲みながら、二胡の名曲を聴くのは大変幸せなことだと私は思います。皆様もぜひ一度、どうぞお試しください。

